



JASDAQ

平成 20 年 8 月 8 日

各 位

会 社 名 ハイブリッド・サービス株式会社
代表者名 代表取締役社長 鳴海 輝正
(J A S D A Q ・ コード 2743)
問合せ先
役職・氏名 取締役経営企画部長 田淵幸男
電話 03 - 3512 - 2813

特別損失の発生、平成 20 年 12 月期中間（連結・単独）業績予想との差異
及び通期（連結・単独）業績予想の修正に関するお知らせ

平成20年12月期(平成20年1月1日～平成20年12月31日)の業績予想について、下記のとおり特別損失等を計上するとともに、平成20年5月21日付当社「平成20年12月期 第1四半期財務・業績の概況」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 特別損失の計上

当社が保有する投資有価証券(匿名組合出資金:不動産ファンド)において、評価の見直しを実施いたしました結果、米国サブプライム問題に端を発した不動産市況の悪化により出資金が返還されない可能性が高いと判断し、投資損失引当金繰入額 100 百万円を計上いたします。

2. 平成 20 年 12 月期 連結業績予想の修正等

(1) 中間期(平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回予想(A)	10,757	15	24	38
今回修正(B)	10,585	28	55	139
増減額(B-A)	172	43	31	101
増減率	1.6%	-	-	-

(2) 中間期修正理由<連結>

売上高につきましては、主力商品であるトナーカートリッジの卸販売におきまして、利益重視の販売戦略へ移行し、安価販売を回避してきた結果、当初予想を 172 百万円下回る 10,585 百万円(当初予想比 1.6%減)を見込んでおります。

営業損益につきましては、業界内での自然淘汰が進行している状況下、貸倒懸念債権について十分に精査をした結果、リスク認識のもと営業債権に対する貸倒引当金を大幅に積み増し、貸倒引当金繰入額として 89 百万円を計上したこと等により、当初予想を 43 百万円下回る 28 百万円の営業損失(当初予想は 15 百万円の営業利益)となる見込みであります。

経常損益につきましては、前述の影響等により、当初予想を 31 百万円下回る 55 百万円の経常損失(当初予想は 24 百万円の経常損失)となる見込みであります。

中間純損益につきましては、前述の特別損失の計上等により、当初予想を 101 百万円下回る 139 百万円の中間純損失(当初予想は 38 百万円の中間純損失)となる見込みであります。

(3) 通期(平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	22,538	136	64	3
今回修正(B)	22,423	89	42	75
増減額(B-A)	115	47	22	78
増減率	0.5%	34.6%	34.4%	-

(4) 通期修正理由<連結>

売上高につきましては、新商材の開拓及び拡販に傾注するものの、中間期の減少分をカバーするまでには至らず、当初予想を 115 百万円下回る 22,423 百万円(当初予想比 0.5%減)を見込んでおります。

営業利益につきましては、今後、大きな懸念材料は想定しておりませんが、中間期の減益要因に加えて、原油価格高騰による配送コストの増加等、販売費及び一般管理費への影響を勘案し、当初予想を 47 百万円下回る 89 百万円(当初予想比 34.6%減)となる見込みであります。

経常利益につきましては、前述の理由により、当初予想を 22 百万円下回る 42 百万円(当初予想比 34.4%減)となる見込みであります。

当期純損益につきましては、前述の理由及び特別損失の計上等により、当初予想を 78 百万円下回る 75 百万円の当期純損失(当初予想は 3 百万円の当期純利益)となる見込みであります。

(5) ご参考:前期の実績(平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
中間期(1/1～6/30)	12,232	26	10	35
通期(1/1～12/31)	23,978	110	48	96

3. 平成 20 年 12 月期 単独業績予想の修正等

(1) 中間期(平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回予想(A)	10,224	19	2	5
今回修正(B)	10,064	32	41	113
増減額(B-A)	160	51	39	108
増減率	1.6%	-	-	-

(2) 中間期修正理由<単独>

前記「2. 平成20年12月期 連結業績予想の修正等 (2) 中間期修正理由<連結>」と同様の理由により、売上高は当初予想を160百万円下回る10,064百万円(当初予想比1.6%減)、営業損益は当初予想を51百万円下回る32百万円の営業損失(当初予想は19百万円の営業利益)、経常損益は当初予想を39百万円下回る41百万円の経常損失(当初予想は2百万円の経常損失)、中間純損益は当初予想を108百万円下回る113百万円の中間純損失(当初予想は5百万円の中間純損失)となる見込みであります。

(3) 通期(平成20年1月1日~平成20年12月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	21,360	113	60	28
今回修正(B)	21,200	53	11	82
増減額(B-A)	160	60	49	110
増減率	0.8%	53.1%	81.7%	-

(4) 通期修正理由<単独>

前記「2. 平成20年12月期 連結業績予想の修正等 (4) 通期修正理由<連結>」と同様の理由により、売上高は当初予想を160百万円下回る21,200百万円(当初予想比0.8%減)、営業利益は当初予想を60百万円下回る53百万円(当初予想比53.1%減)、経常利益は当初予想を49百万円下回る11百万円(当初予想比81.7%減)、当期純損益は当初予想を110百万円下回る82百万円の当期純損失(当初予想は28百万円の当期純利益)となる見込みであります。

(5) ご参考: 前期の実績(平成19年1月1日~平成19年12月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
中間期(1/1~6/30)	11,833	31	49	15
通期(1/1~12/31)	23,094	130	125	100

なお、平成20年12月期の配当予想につきましては、年間1株当たり1,500円(中間500円、期末1,000円)に変更はありません。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なることがあります。

以上